

行田市産業交流拠点における施設配置図

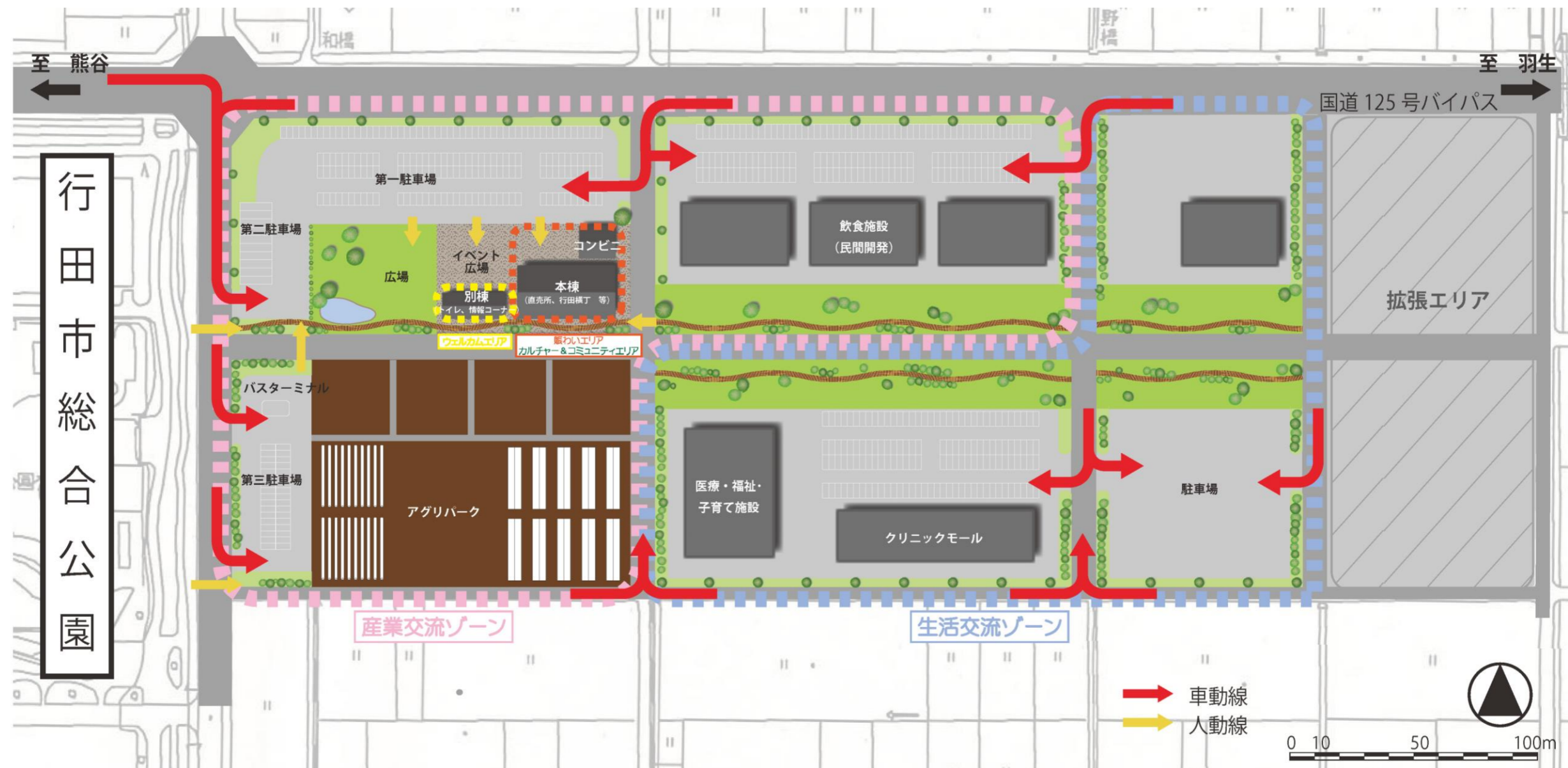
1. 施設配置図について

- ・ウェルカムエリアは、別棟として24時間利用出来る情報コーナーとトイレを想定。駐車場や広場に近い位置に配置します。
- ・カルチャー&コミュニティエリア、賑わいエリアは本棟として、農産物直売所や行田横丁等を配置します。
- ・アグリパークは、本棟南側に配置し、本棟内の多目的室・加工キッチンで、収穫した農産物を加工・料理体験できるように利便性を考慮します。
- ・民間開発を想定しているロードサイドの飲食施設は、国道125号バイパスからのアクセス性を考慮し、国道125号バイパス沿道に配置します。
- ・生活交流ゾーンは、地域住民の利用を第一に考え、南側からアクセスしやすい位置に、医療・福祉・子育て施設、クリニックモールを配置します。



2. ゾーニング・動線図について




- ・産業交流拠点は、産業交流ゾーン（ウェルカムエリア、カルチャー&コミュニティエリア、賑わいエリア）と生活交流ゾーン（生活交流エリア）で構成し、隣接する行田市総合公園との連携を図ります。
- ・産業交流ゾーンにおいては、行田市総合公園との連携を考慮し、各エリア及び建物を西側に配置します。
- ・生活交流ゾーンにおいては、地域住民の利用アクセスを考慮し、建物を東南部に配置します。
- ・自動車の動線は国道 125 号バイパスからのアクセスをメインに考え、東の羽生方面、西の熊谷方面、東西両方向共に、行田市総合公園との間にある道路（行田市都市計画道路常盤通佐間線 3.5.14）、『総合公園前交差点』からのアクセスを主要動線とします。
- ・生活交流ゾーンや民間開発のエリアには、東の羽生方面からアクセスしやすいように現状の道路を拡幅し、動線を確保します。
- ・駐車場出入口は、交差点からできる限り離れた位置に配置し、交差点付近の混雑に繋がらないように配慮します。



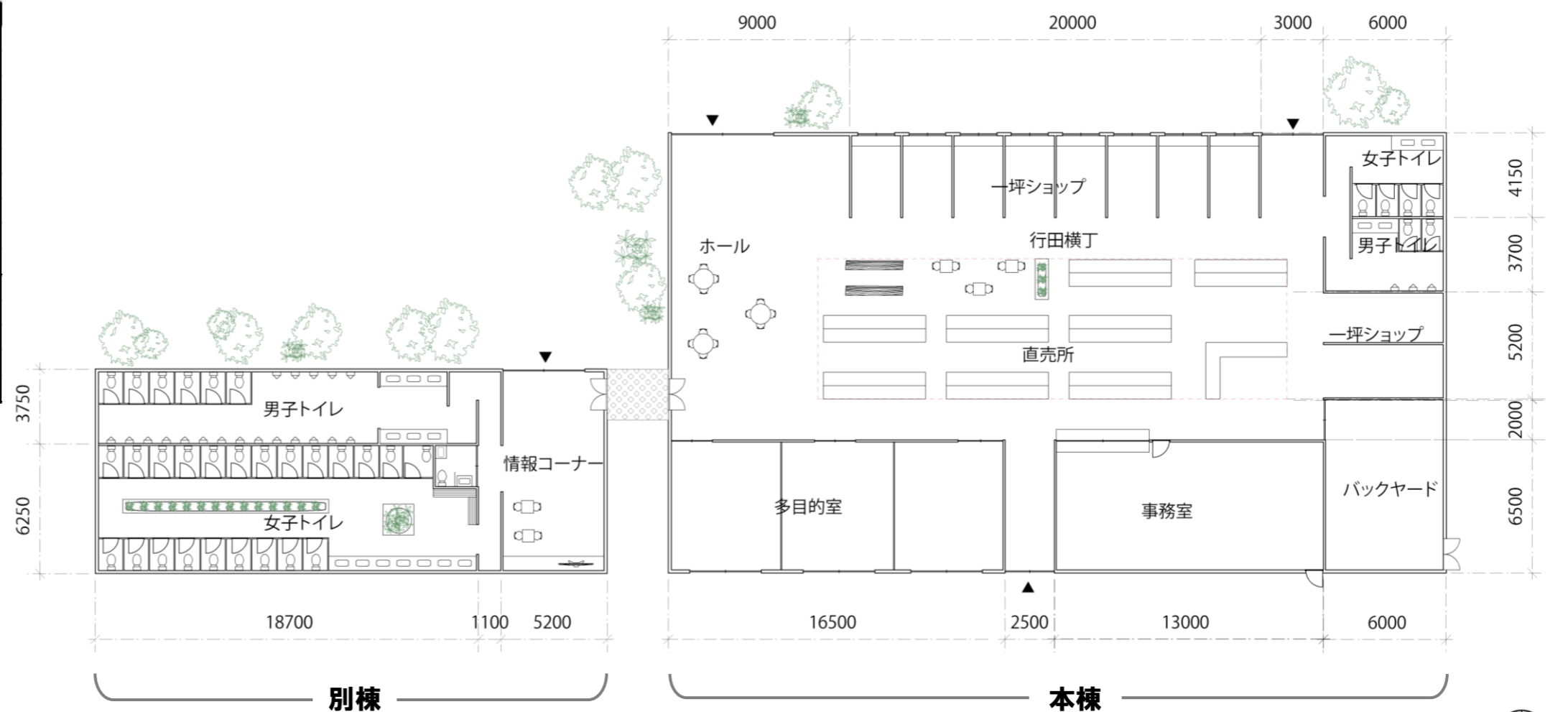
3. 本棟・別棟平面図について

・産業交流拠点の主要施設となる本棟（多目的室・行田横丁等）と別棟（情報コーナー・トイレ）の施設内容は、次の3タイプにて検討を行います。




■施設内容（タイプA：中央に農産物直売所を設置）

施設機能	施設内容	施設イメージ
本棟 農産物直売所、 行田横丁（一坪ショップ等）、 加工キッチン、多目的室 等	<ul style="list-style-type: none"> 農産物直売所の棚は低く設計することで、店舗内の見通しを良くする。 行田横丁は、各一坪ショップの特色を活かしつつ、統一感のある空間とする。 一坪ショップは屋外からのテイクアウトも可能とする。 加工キッチンは、6次産業化への活用も見据えた整備を検討する。 多目的室は可動壁とし、最大100㎡の利用可能な空間とする。 本棟のトイレは、敷地内に別トイレを整備することを踏まえ、最低限とする。 	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>■直売所のイメージ</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>■一坪ショップのイメージ</p>  </div> </div>
別棟 情報コーナー、 トイレ	<ul style="list-style-type: none"> 24時間利用可能トイレ基数については、別紙の通り前面道路交通量から算定する。 男子トイレは小便器19、大便器6とする。 女子トイレは便器22とし、化粧室の空間にゆとりをもたせて設計する。 	<div style="text-align: center;"> <p>■女子トイレのイメージ</p>  </div>

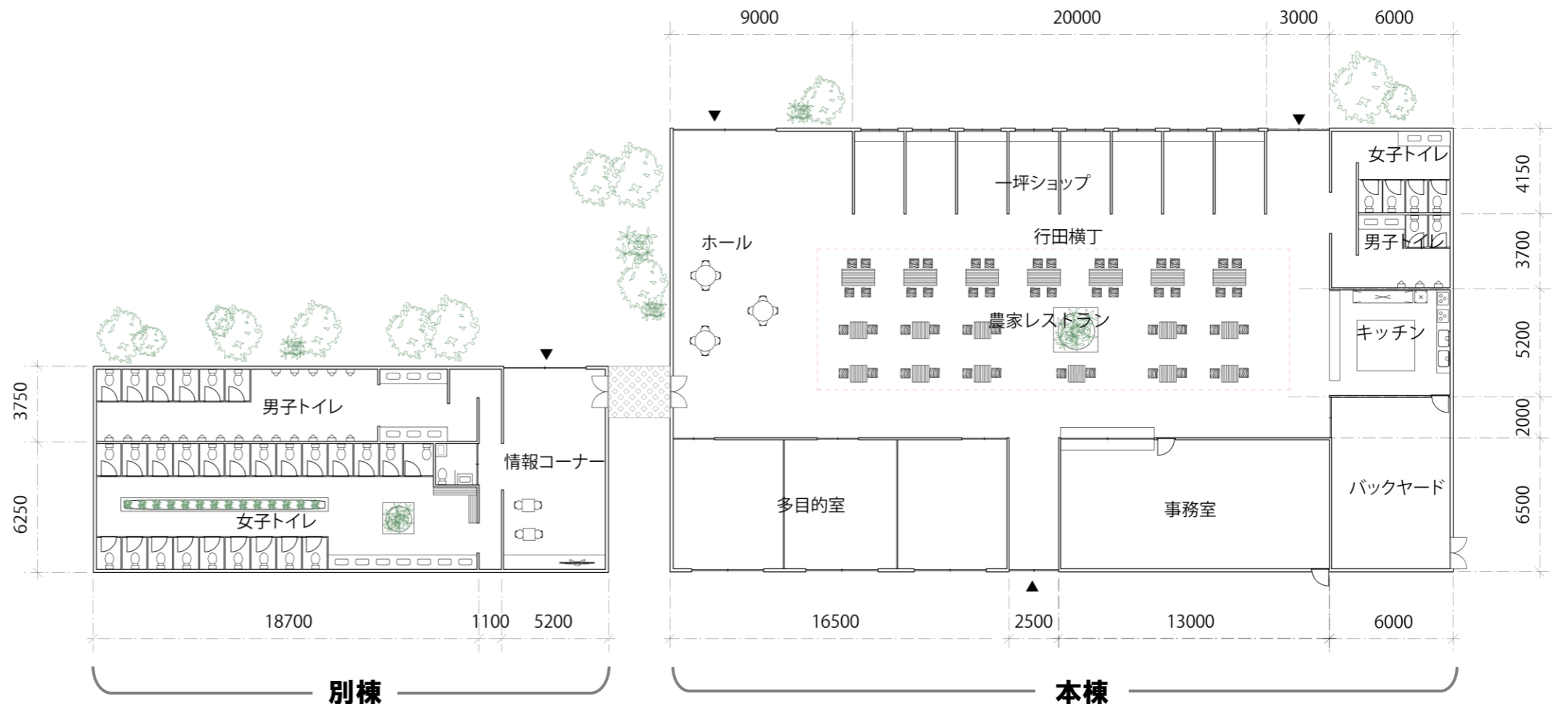
棟	機能	面積(㎡)	備考
本棟	ホール	136	
	一坪ショップ	114	
	直売所	160	
	男子トイレ	22	小3基 大2基
	女子トイレ	25	4基
	多目的室	107	
	事務室	85	
	バックヤード	51	
	その他(廊下等)	119	
	計	819	
別棟	情報コーナー	52	
	男子トイレ	74	小19基 大6基
	女子トイレ	120	22基
	多目的トイレ	4	1基
	計	250	



■施設内容（タイプB：中央に農家レストランを設置）

施設機能	施設内容	施設イメージ
本棟 農家レストラン、 行田横丁（一坪ショップ等）、 加工キッチン、多目的室 等	<ul style="list-style-type: none"> 農家レストランは、地元の季節の産品を活かしたメニュー作りに努める。また、建物中央に配置し、開放的な空間とする。 行田横丁は、各一坪ショップの特色を活かしつつ、統一感のある空間とする。 一坪ショップは屋外からのテイクアウトも可能とする。 加工キッチンは、6次産業化への活用も見据えた整備を検討する。 多目的室は可動壁とし、最大100㎡の利用可能な空間とする。 本棟のトイレは、敷地内に別トイレを整備することを踏まえ、最低限とする。 	■農家レストランのイメージ  ■一坪ショップのイメージ 
別棟 情報コーナー、 トイレ	<ul style="list-style-type: none"> 24時間利用可能トイレ基数については、別紙の通り前面道路交通量から算定する。 男子トイレは小便器19、大便器6とする。 女子トイレは便器22とし、化粧室の空間にゆとりをもたせて設計する。 	■女子トイレのイメージ 





棟	機能	面積(㎡)	備考
本棟	ホール	136	
	一坪ショップ	84	
	農家レストラン	160	50席
	キッチン	30	
	男子トイレ	22	小3基 大2基
	女子トイレ	25	4基
	多目的室	107	
	事務室	85	
	バックヤード	51	
	その他(廊下等)	119	
	計	819	
別棟	情報コーナー	52	
	男子トイレ	74	小19基 大6基
	女子トイレ	120	22基
	多目的トイレ	4	1基
	計	250	



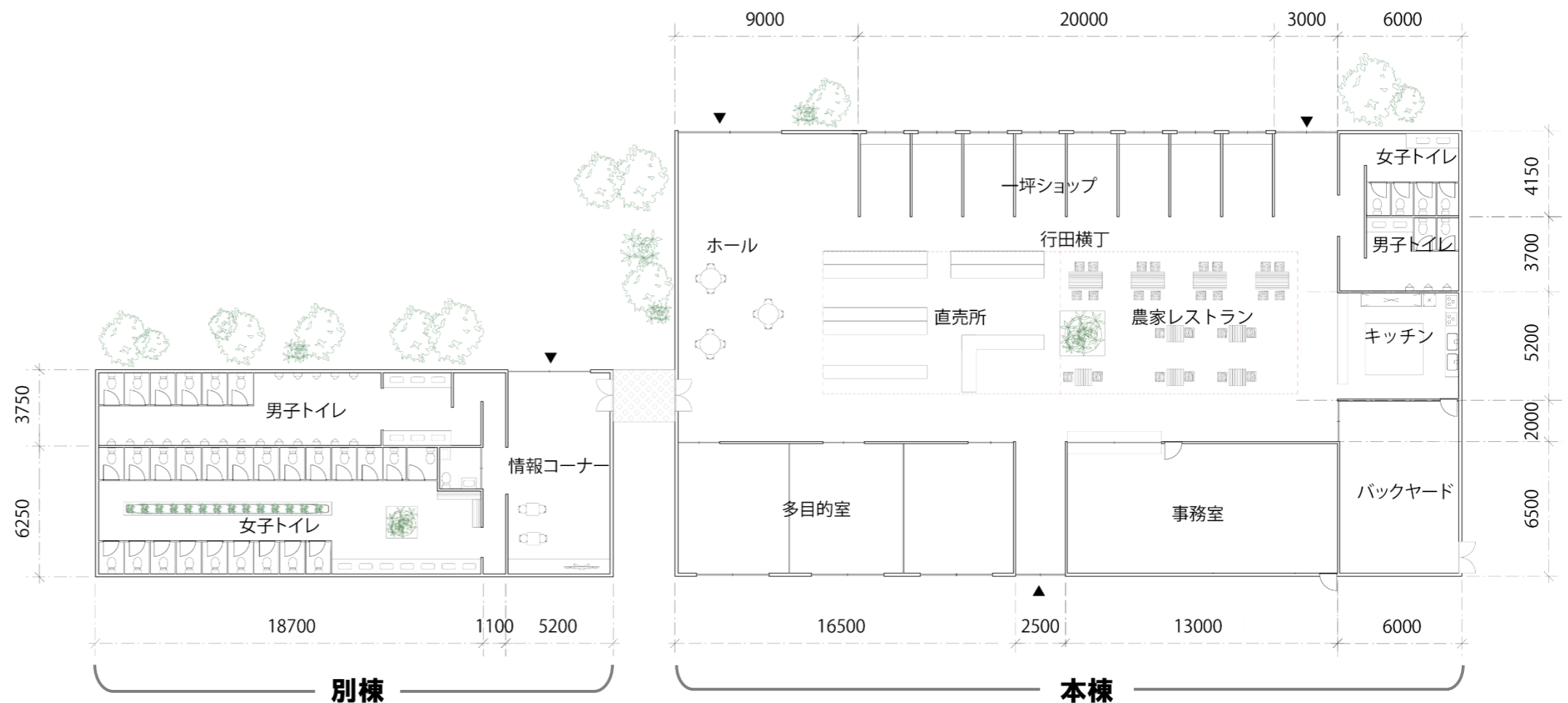
※キッチン、バックヤード、事務室の面積は調整が可能。



■施設内容（タイプC：中央に農産物直売所と農家レストランを設置）

施設機能	施設内容	施設イメージ
本棟 農家レストラン、 行田横丁（一坪ショップ等）、 加工キッチン、多目的室 等	<ul style="list-style-type: none"> 農産物直売所の棚は低く設計することで、店舗内の見通しを良くする。 農家レストランは、地元の季節の産品を活かしたメニュー作りに努める。また、建物中央に配置し、開放的な空間とする。 行田横丁は、各一坪ショップの特色を活かしつつ、統一感のある空間とする。 一坪ショップは屋外からのテイクアウトも可能とする。 加工キッチンは、6次産業化への活用も見据えた整備を検討する。 多目的室は可動壁とし、最大100㎡の利用可能な空間とする。 本棟のトイレは、敷地内に別トイレを整備することを踏まえ、最低限とする。 	■直売所のイメージ  ■一坪ショップのイメージ  ■農家レストランのイメージ 
別棟 情報コーナー、 トイレ	<ul style="list-style-type: none"> 24時間利用可能トイレ基数については、別紙の通り前面道路交通量から算定する。 男子トイレは小便器19、大便器6とする。 女子トイレは便器22とし、化粧室の空間にゆとりをもたせて設計する。 	■女子トイレのイメージ 

棟	機能	面積(㎡)	備考
本棟	ホール	136	
	一坪ショップ	84	
	直売所	80	
	農家レストラン	80	26席
	キッチン	30	
	男子トイレ	22	小3基 大2基
	女子トイレ	25	4基
	多目的室	107	
	事務室	85	
	バックヤード	51	
その他(廊下等)	119		
計		819	
別棟	情報コーナー	52	
	男子トイレ	74	小19基 大6基
	女子トイレ	120	22基
	多目的トイレ	4	1基
計		250	



※キッチン、バックヤード、事務室の面積は調整が可能。



(参考)トイレ器具数の算定式

i) 立ち寄り人数ピーク時の算定

駐車マス、車種別乗車人員、平均駐車時間より、単位時間あたりの立ち寄り人数ピーク時間を算出します。

	小型	バス	貨物車
駐車マス	250.00	1.00	9.00
車種別乗車人員	2.30	27.00	1.30
ピーク時立ち寄り人数(人)	575.00	27.00	11.70
平均駐車時間(h)	0.25	0.25	0.33
立寄人数(人/h)	2300.00	108.00	35.10

※大型車（バス、貨物車）の駐車マス数割合は国道125号行田バイパスにおけるバス及び貨物車の交通量の割合を基に算出。

※出典：車種別乗車人数：東日本高速道路株式会社 設計要領 休憩用建築施設

立ち寄り人数（人/h）の合計 $\div 2300+108+35=2443$ 人/時間

ii) トイレ基数の算定

男女比率、利用率、便器専用時間より、トイレ器具数を算定する。

立寄人数(人/h)	2443
男女比率	2:1
利用率	80%
便器占有時間(男子)	53秒/人
便器占有時間(女子)	2分/人

【男子】

- ・(小) $2443 \times 2/3 \times 0.8 \div 60/0.87519 \div 19$
- ・(大) $19 \times 0.3 \div 6$

※男子大便器数は、小便器 $\times 0.3$ とする。

【女子】

$$2443 \times 1/3 \times 0.8 \times 60/2 \div 22$$

※参考：建築資料研究社 建築設計資料 道の駅

以上より、

【男子】25器（小：19、大：6） 【女子】22器 【多目的トイレ】1器

※身障者用トイレは、日本道路公団設計要領 公衆トイレ標準規模表より抜粋